小坂インター 10月12日開通

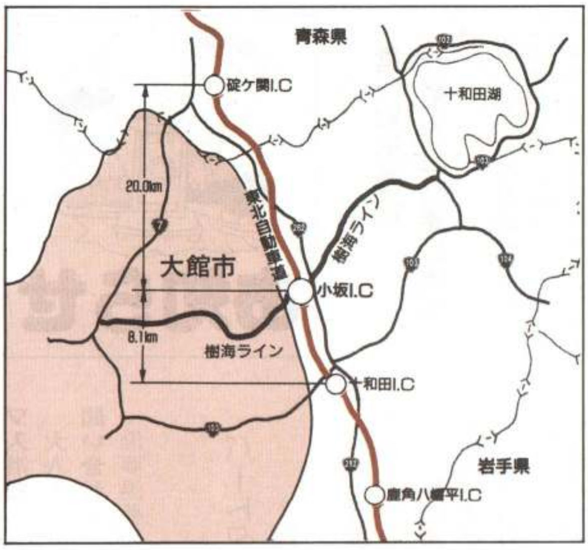
十月十二日、東北縦貫自動車道の五十六カ所目のインターチェンジとして「小坂インターチェンジ」が開通しました。料金所ゲート前で行われた開通式には、関係者約五百人が出席。記念植樹やテープカット、パレードなどで待望の開通を祝いました。

これまでの経緯

東北縦貫自動車道「小坂インターチェンジ」の増設には、計画ルートの変更を伴うなど大変厳しい情勢にありました。そのため、昭和五十六年十一月二十七日に大館市を含む関係二十一市町村で建設期成同盟会（会長畠山健治郎）を発足して、粘り強く運動を展開してきました。

その結果、昭和六十一年一月に開催された国土開発幹線自動車道建設審議会で「追加インターチェンジ」として整備計画に組み入れられ、昭和六十三年十月から建設工事が始められました。

当初、供用開始は平成二年十一月に予定されていましたが、冬期間の積雪が少なく、工事が予想以上に順調に進んだため、予定より一カ月早い十月十二日の午後三時に待望の「小坂インターチェンジ」が開通しました。



波及効果に期待

小坂インターチェンジは、総事業費約十五億円（うち工事費八億円）をかけて、十和田～碇ケ関両インターチェンジ間、小坂高校裏手付近に建設され、県道大館十和田湖線（通称・樹海ライン）と連結されています。

小坂インターチェンジの開通によって、大館市も更に高速交通体系の恩恵に浴することとなり、地域経済の活性化や十和田湖を中心とした観光振興への波及効果が、大いに期待されています。

小坂インター開通のテープカット

「まず消そう 火への鈍感 無感心」

～秋の火災予防運動～

11月4日～10日

寒さが身にしみる季節になりました。ストーブやこたつなど、暖房器具を使い始めたご家庭も多いことでしょう。これから冬に向かって何かと火を使う機会が多くなりますが、火事には十分注意してください。少しでも気になったら火の元を確かめる、こうした日ごろの用心が大切な生命と財産を守ります。

火の用心のポイント

1、天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
2、ストーブには燃えやすいものを近づけない
3、たばこの投げ捨てや、寝たばこをしない
4、子供にマッチやライターで遊ばせない
5、ふろの空だきをしない
6、風の強いときは、たき火をしない
7、家のまわりに燃えやすいものを置かない

119番通報はあわてず正確に

十一月九日は、「一一九番の日」です。一一九番に火災発生を通報するとき、場所や状況を正確に伝えることはなかなか難しいものです。しかし、消火活動は一刻を争います。通報が遅かったり、場所の説明が適切でなかったりしたために消防車の到着が遅れ、被害が大きくなった例も少なくありません。

一一九番に通報するときは、あわてず正確に用件を伝えてください。

①火事か救急かをはっきりと
火事です。救急です。
②場所は正しく詳しく
○○町○丁目○番○号○○アパート○号室○○です。
③何がどうしたのかを正確に
○○アパート○階が火事です。
④通報者を明らかに
私の名前は○○です。電話番号は○○－○○○○です。